

勝平の皆様、こんにちは。春から初夏に向け、日に日に日差しが強まっていくのを感じております。以前のように、外出や人との語らいを存分に楽しむとはなかなかいきませんが、コロナ禍で生まれるストレスとの付き合い方、解消に向けて、当事業所も様々な情報を提供していきますので、今後も宜しく願いいたします。
さて、今回は前年度の活動をご報告いたします。



令和3年度活動報告

はつらつくらぶ開催

6月～9月は「勝平地区集会所」、10月～3月は「ことぶき集いの家」にて「介護予防教室」を行いました。秋には戸外ウォーキングを予定していましたが、当日は雨だったため、屋内運動となりました。

勝平圏域地域ケアネットワーク会議開催

地域の医療従事者・介護保険事業所が年2回一堂に会し、「地域でその方らしく暮らしていく」ことをテーマに意見交換・情報共有をしました。

地域ケア会議開催(個別・地域課題)

高齢者の日々の暮らしの中で起こる困りごとや直面する課題について、介護保険事業所や地域の支援者である町内会の方、民生委員の方と話し合いました。個別ケア会議を重ね、課題を集約し、「様々な組織が見守るネットワーク」の仕組み作りが地域としての課題の一つであるとの観点から「地域課題についてのケア会議」を開催。地域組織として勝平地区社会福祉協議会様、勝平地区振興会様、勝平交番様にご参加いただきました。今後も定期開催することとしております。

西部圏域居宅介護支援事業所等情報交換会開催

新屋・勝平地域の居宅介護支援事業所等に向けた研修会・情報交換会を年4回企画・開催しました。介護保険の制度改正・医療職との連携や業務に必要な知識・活用できる既存制度の周知等、内容は多岐に渡りました。

かつひら雪寄せ協力隊ボランティア呼びかけ

初の試みでした。地域で世代を超えて支援の手を差し伸べて下さる方との呼びかけに5名・1事業所が名乗りを上げてくださいました。次年度も何らかの形でお声かけを続けていくこととしております。本当にありがとうございました。



玄関アプローチの固い雪を寄せる協力隊

令和4年4月から秋田市内全域(18ヶ所)に 認知症地域支援推進員が配置されます

2025年には5人に1人が認知症と言われている昨今、認知症になっても暮らせるまちづくりが喫緊の課題となっています。その認知症対策の一環として、昨年度までは秋田市内9ヶ所に配置されていた認知症地域支援推進員が、今年度からは秋田市内18ヶ所全ての地域包括支援センターに配置となりました。

認知症地域支援推進員・・・と言われても聞き慣れない人が多いかと思います。認知症の相談や認知症に係る様々なまちづくりを行う役割です。

今後、勝平地域では、認知症予防事業として「アタマとカラダの健康教室」や認知症の相談場所として「認知症カフェ」、その他認知症に関する研修会・勉強会などの開催を検討しています。詳細が決まり次第、広報あきたやこの広報紙等でお知らせいたします。

～職員紹介～



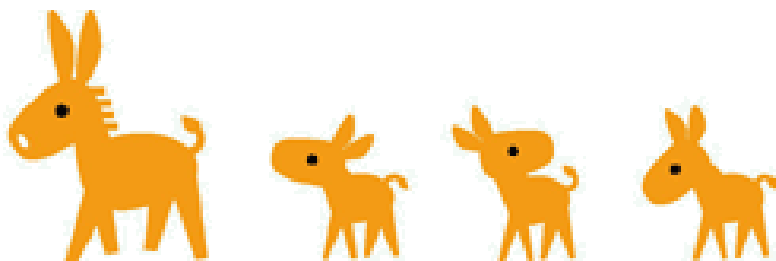
高橋 佳奈(保健師)

4月から認知症地域支援推進員を務めさせていただくことになりました。シンシアに来て丸3年になります。

認知症になっても分け隔てなく住み慣れた地域で暮らせるよう、さりげない気配り・心配りができるまちを目指して取り組んでいきたいと思っています。

サークルや集いの場などいろいろな場所にお邪魔させていただきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

皆さん、このロバを ご存知ですか？



先頭のロバはロバ隊長と呼ばれ、認知症サポーターキャラバン(認知症の方をサポートする人を100万人つくりますという活動)のマスコットキャラクターです。

ロバのように急がず、ゆっくり着実に・・・という思いが込められています。

これからも時々登場する予定なので、覚えてもらえると嬉しいです